飛翔OB会 同窓会報
令和４年３月２日
第 29 号

「座右の銘・小さな努力を重ねること」

同窓会会長 岩渕義昭

卒業生の皆さま、ご卒業、誠におめでとうございます。同窓会を代表して、心よりお祝い申し上げます。高校三年間の学びが今後の糧となり、夢や希望に向かって前向きな人生を歩んでいかれますようお祈りいたします。

工大二高同窓会の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。コロナウイルスの感染状況が落ち着かないまま、令和四年を迎えました。相次ぐ変異株の発生により緊張が高まる中、様々な困難や不安を抱えながら、生活の変化を余儀なくされていることと思います。

そんな中、昨年末は同窓会にとって明るいニュースがありました。前同窓会長を務められ、長年母校のために大変ご尽力いただいている熊谷雄一氏が、見事八戸市長に当選いたしました。工大二高出身の市長誕生は母校の誇りであり、現役の二高生にとっても大変大きな励みになることでしょう。心からお喜び申し上げますと共に、市政に新しい風を吹かせ、今後ますますご活躍されますことを期待申し上げます。

さて、再び世の中の動きに目を向けますと、新型コロナウイルス感染症拡大への様々な対応に追われ、世界経済が甚大な打撃を受ける状況が続いております。さらに、相次ぐ異常気象が各地を襲い、気候変動対策への世界的に意識が高まる中で、日本の脱炭素社会に向けた取り組みは国際的にはやや見劣りがし、遅れをとっていると言わざるをえません。

日本国内においては、少子高齢化の進展、生産年齢人口の減少により、経済規模の縮小、社会保障制度の給付と負担のバランスの崩壊など、様々な社会的課題が深刻化しています。「人生一〇〇年時代」と言われますが、個々人にとっても、長い人生にどんな価値を創造し、いかに有意義に過ごすか、深く考える必要に迫られていると思います。

このような答えのない現代社会へと歩み始めた若き卒業生の皆さんには、温故知新、先達が残した言葉や人生の先輩の助言に素直に耳を傾け、自分を省みる姿勢を大切にしてほしいと思います。

私には、二十代の頃取引先の社長からいただき、以来大切にしている言葉があります。福沢諭吉が残した教えとして世に広まった「心訓七則」です。

一、世の中で一番楽しく立派なことは、一生を貫く仕事を持つことである。

一、世の中で一番みじめなことは、教養のないことである。

一、世の中で一番さびしいことは、仕事のないことである。

一、世の中で一番みにくいことは、他人の生活をうらやむことである。

一、世の中で一番尊いことは、人に奉仕して決して恩を着せないことである。

一、世の中で一番美しいことは、すべてのものに愛情を持つことである。

一、世の中で一番悲しいことは、嘘をつくことである。

私はこの心訓を座右の銘とし、額に収めて部屋に飾っています。仕事では失敗が多く、悩む日々が続いたこともありましたが、それでも気力を振り絞って今まで働くことができたのは、この言葉が、折に触れて謙虚に生きることの大切さを諭し、自分を律してくれたおかげのような気がいたします。振り返ると、人生の迷いや挫折を味わうたび、いずれかの一訓が、心を整える教えとして胸に響き、共に歩んでくれたから今があると思います。

卒業生の皆さんは、座右の銘をお持ちでしょうか。昔から大切にされ、現代まで引き継がれていることわざなどには、令和の時代にも通ずる教えがたくさんあることでしょう。

困難に陥った時、自分がこうありたいという理想を思い起こさせてくれる人生の道しるべを、ぜひ皆さんにも一つ持っていただきたいと思います。最近では外国語の人生訓もたくさん目にしますので、そうしたものから良い言葉を探してみても良いでしょう。家族や目上の方、自ら師と仰ぐ方からいただく言葉が皆さんの大切な格言となることもあるでしょう。

最後になりますが、他者の言葉に耳を傾け、自分だけでなく周りを気づかい、謙虚さを忘れないでください。皆さんのさらなる飛躍を心よりお祈りいたします。

第42回 青森県高等学校総合文化祭 美術部門 「優良賞」受賞

第42回青森県高等学校総合文化祭美術部門において、美術コース２年吉田風花さんの作品「おもひで」が優良賞に選ばれました。以下、吉田さんの感想です。

ゆらゆらと揺れる木漏れ日や見慣れた光景、思いを馳せている場面を描きました。

描写は勿論ですが、配色や色作りは特に苦戦しました。メインの木漏れ日が埋もれないように、なおかつ画面が寂しくならないような配色を意識するのは大変でした。

今回、結果は悔しいものになってしまいましたが、全ての過程が私にとって素晴らしい経験でした。今回学んだことを活かして、これからも作品作りに精進していきたいです。

第46回リアル＆オンライン同窓会
～万全の感染対策をしての開催～

9月19日（日）46回リアル＆オンライン同窓会を開催した。リアルのメイン会場は、八戸パークホテルで、来賓として学校法人八戸工業大学副理事長の橋本精二氏と二高後援会長の熊谷雄一氏の2名他役員・幹事・教員23名が出席し、コロナ感染対策を確り整えて行われた。

司会のフリーアナウンサー棋内有希子さん（20回生）と住吉砂津貴事務局長（6回生）の音頭で始まり、明石校長はオンラインで自宅から参加、遠くは沖縄在住の西野彰さん（4回生）をはじめ全国から24名の同窓生のアクセスがあり、学校や恩師、同窓生の皆さんの近況報告や企業紹介など和やかな雰囲気で楽んだ。

中盤には、毎年開催しているがコロナ禍で2年間開催することができずにいた、定年退職された先生方の恩師還暦を祝う会が行われ、10名の先生方を代表して大関隆英先生が出席され、同窓会から感謝を込めてお一人5万円分の旅行券を贈呈することができた。

今回リアルで参加した同窓生5名の皆さんが本部幹事に任命された。

＊本部幹事

☆西久保賀庸（3回生）
☆石橋　龍也（4回生）
☆高田　仁（17回生）
☆棋内有希子（20回生）
☆川崎　竜司（42回生）

書面総会の結果

第46回同窓会は、昨年に引き続きコロナ禍の影響で書面定例総会を3月13日八戸ポータルミュージアムはっち5Fで、岩渕会長をはじめ7名の役員で開催した。有効数86名、返答者は53名で書面総会は成立。

第46回定例幹事書面総会

第一号議案の件

「第45期令和2年度活動報告及び会計報告」

賛成53名全会一致で承認。

第二号議案

「第46期令和3年度活動計画及び予算案の件」

賛成52名反対1名で、過半数の賛成で承認。

第三号議案

「役員改選の件」

賛成53名全会一致で承認。

引き続き、三期目の岩渕会長から新役員の指名があり紹介された。

役員は次の通り。（☆は新任若しくは昇格、＊は会長指名による議決権なしのアドバイザー）

＊名誉顧問

熊谷　雄一（6回生）

(1)会　長

岩渕　義昭（4回生）

(2)副会長

石塚　利孝（3回生）
杉本　佳子（5回生）
柄本　俊一（14回生）

(3)事務局長

住吉砂津貴（6回生）

(4)専務幹事

田中　洋（19回生）

(5)常任幹事

☆越後喜代志（27回生）
☆千葉　貴紀（32回生）

(6)監　事

千葉　三代（19回生）
越後林寛之（21回生）

＊顧　問

小野　善一（4回生）

＊相談役

住吉　治彦（0回生）

総会終了後、引き続き役員会が行われ、会員カード推進事業をはじめ創立50周年に向けての今後の同窓会活動事業が審議された。

役員会の経過報告
～将来の同窓会活動について審議白熱する～

この一年間は将来の同窓会運営についての会議を11回開催し、そのうちオンライン会議は6回実施した。

一年後同窓会加入者の減少に伴い、活動の変革が最優先審議事項で、3月12日の総会で正式に決議されるが、会員各位には事前に周知する。

①会員カード発行

同窓会会員が会員カード協賛店・企業様に会員カードを提示した際に、物品購入や飲食等の利用額からの値引きや特典を付与する。

今年度は100社の店舗や企業の募集を行い、今年8月からの運用開始を目指す。

この事業は、創立50周年を間近に控えた、同窓会記念事業である。

協力いただける店舗・企業は事務局までご連絡いただきたい。

②同窓会開催の件

今までは、6月に関東支部、8月に納涼パーティーを年2回開催しているが、令和5年度から年一回の開催に変更することが決定した。

○令和5年
第48回納涼パーティー
8月11日（金）
八戸パークホテル

○令和6年
第46回関東支部
6月　東京会場未定

○令和7年
第49回納涼パーティー
8月11日（月）
八戸パークホテル

③納涼パーティー日程

これまでは8月の第二土曜日に開催していたが、今年から8月11日とし、11日が日曜日の場合は10日土曜日の開催とする事に決定した。

以上、役員会で決定したが、継続審議は次の通り。

④飛翔ＯＢ会新聞の件

令和9年まではこれまでの方法で発刊する予定であるが、それ以降は発行部数の変更などが必要。

⑤同窓会費値上げの件

同窓会運営の原資は同窓会入会金であるが、入会者の減少に伴い値上げを検討。ＰＴＡ、特に保護者各位と学校側のご協力が必要不可欠であることから、継続審議重要案件となる。

第44回関東支部同窓会
初のオンラインで開催する！

画面越しの再会を楽しむ

6月26日、2年ぶりの第44回関東支部同窓会を初のオンラインで開催した。メイン会場は、植村支部長の経営する東京・北千住のインターネット放送局スタジオで、二高会議室会場に集まった岩測会長をはじめ役員3名と明石校長先生はじめ15名の恩師と全国の同窓生60名がＺＯＯＭでつながった。

メイン会場では、チンドン芸能社の永田美香さん（11回生）とタレントの藤好佳子さん（26回生）2名が司会を務め、二高会議室から校長室までの構内の様子を実況中継し、明石校長の近況報告、そして岩測会長の乾杯の発声があり、各自パソコンやスマホで同窓会に参加、予め送られた八戸名産品を飲食しながら、恩師、同窓生の近況報告などで親睦を深めた。

最後は、豪華景品ｉＰａｄ争奪「二高クイズ」を行い全問正解した、西塚務さん（26回生）が見事賞品を獲得した。

後日8月7日の光彩会総会において岩測会長より手渡された。

今回は特に新型コロナの影響下で奮闘している飲食店経営の卒業生を中心に紹介し、また遠くは韓国在住の久慈安子さん（10回生）から韓国事情の紹介があり、誰がどこにいるか全て把握されていること等を話され、デジタルにおける管理が進んでいるようだ。

オンラインの同窓会は初めての試みだったが、地域を限定せずに、世界中どこからでも参加でき、しかも移動時間がかからず、ネットの繋がる環境が整ってさえいれば、手軽に利用できる。

これからは同窓会に限らず、ビジネスや教育現場での可能性があり、新しい感覚で業務を遂行できるメリットがあることを感じた同窓会であった。

関東支部長　植村　昭雄（10回生）

3年生の皆さんご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

約40年前、私も皆さんと同じように八戸を後にし、東京に向かいました。

高校時代はとにかく東京に出てみようと思っていましたが、東京に来ると今度は世界がぐっと近くに感じるようになります。東京八戸間の新幹線代金よりも海外旅行の方が安いという場合もあります。私も仕事でラオスなど東南アジアに行く機会が増えました。10年前に比べて、東南アジアの発展を肌で感じると同時に、日本の停滞を感じます。海外に行き、今まで１００円で買えていたものが買えない。そんな時はドキッとします。

また、少子高齢化が進み、コンビニや飲食店で働く海外の方が増えました。居酒屋によってはスタッフのほとんどが海外の人というお店もあります。つまり、これからは海外のかたと暮らす社会、多文化共生をより一層肌で感じるようになります。東京に来たら世界の中の日本。世界の中の八戸という視点で見てみると何か感じることがあるかもしれません。関東支部では1年に一度同窓会を開催していますが、皆さんと会えることを楽しみにしています。

◎関東支部役員

(1)**支部長**
☆植村　昭雄（10回生）
(2)**副支部長**
☆永田　美香（11回生）
☆大久保　平（20回生）
(3)**事務局長**
☆住吉砂津貴（6回生）
(4)**常任幹事**
☆市澤　正隆（3回生）
☆佐々木信綱（19回生）
☆原　辰徳（25回生）
＊**顧　問**
☆小山　真央（7回生）
＊**相談役**
☆髙森　敏（4回生）

＊**参　与**
☆工藤　珠代（6回生）
☆市沢　司（7回生）

◎**関東支部選任幹事**
渡邊　育子（11回生）
八鍬　貴子（13回生）
日高　寛直（17回生）
三浦裕美子（19回生）
浜谷　大樹（25回生）

お悔やみ

上野　豊　様（7回生）
坂本道信　様（18回生）
ご冥福をお祈り致します。

活躍する先輩たち

八戸市長　熊谷　雄一さん（６回生）
絵本作家　石橋貴美子さん（14回生）

◎昨年11月に八戸市の第26代市長となられた熊谷雄一さんにインタビューしました。

☆熊谷さんは、昨年の八戸市市長選挙で初当選し、市長として新たなスタートとなりました。本当におめでとうございます。八戸市長となられての抱負をお聞かせください。

―今、コロナ禍、デジタル化、カーボンニュートラルへの対応など、大きな変化の時期を迎えています。これらの変化に的確に対応しながら、八戸市の伝統・文化・コミュニティなどを守ると共に、新しい産業振興や市民生活の質の向上につなげていかなければなりません。

そのためにも、市民の皆様との対話を大切にし、姿勢に対する理解と共感をいただき、皆様とともに新しい八戸市を創造していきたいと考えております。

☆熊谷さんのこれまでの活動について教えてください。

―大学卒業後に東京の魚市場で働き、平成元年に八戸市に帰ってきました。市内で水産業に従事するとともに、まちづくりの活動をする中で、八戸市の発展のためには政治の力が必要だと感じ、八戸市議会議員となり、その後青森県議会議員として昨年の10月まで務めました。

☆今後の目標は何でしょうか？

―八戸市長として、さらなる元気な八戸を創造していくことに尽きます。喫緊の課題であります新型コロナウイルス対策を始め、八戸地域の経済の活性化やデジタル化や環境問題、ＳＤＧｓに対応しながら持続可能なまちづくりを目指します。

☆高校時代の思い出を教えてください？

―二年生までは、卓球部の活動や生徒会活動を自分なりに熱心に行っていたつもりです。文化祭では歌をうたい、結構好評でした。三年生の夏以降は大学受験に向けて、先生方のご協力をいただきながら懸命に取り組みました。

☆今年度卒業する皆さんへメッセージをお願いします。

―新型コロナウイルス感染症の影響により大変な状況の中で、共に学んだ仲間との友情や、恩師への感謝の気持ちを大切にしてください。そして、一日一日を大切にしながら、夢や目標に向かって努力していく過程の中で、生きる喜びを見出してほしいと思います。

☆最後に、同窓会の皆さんへ一言お願いします。

―岩渕会長を中心に、二高卒業生であるという絆を大切にし、母校のさらなる発展に向けて団結していただくことを願っております。また、会員の皆様のそれぞれの立場での更なる飛躍をご期待します。

卒業生の声

「全速前進」

築瀬　倫

工大二高での学校生活を通して、全力で取り組むことの大切さを学ぶことができた。特に印象深いのは部活動だ。

私は硬式テニス部に所属し、熱心な紀室先生のご指導の下、朝・昼・夜とテニスに全力で打ち込んできた。なかなか結果が残せない時期もあったが、仲間たちと励まし合いながら努力することで乗り越え、部の目標だった県大会での団体戦優勝を果たすことができた。紀室先生や仲間たちには本当に感謝している。また、全力でテニスに打ち込むことで培った体力や精神力を受験でも活かし、志望校の合格をつかみ取ることができた。これらの活動を通して、物事に全力で取り組むことで社会の中で生き抜く力を身に付けることができたと実感した。これからは、南極観測隊員として氷床融解の原因を究明するという目標達成のために、大学での活動に全力で取り組んでいきたいと考えている。

最後に、ご指導いただいた先生方、そしてご支援いただいた方々、本当にお世話になりました。

「学びと感謝」

阿部裕紀奈

二高との３年間で、私は実行力と協調性が大切であると感じた。特に生徒会での活動は、私にとってとても大きな経験であった。

生徒会で企画を進める際、実施計画の問題点を考えるときには、別角度から解決法を見出すことを学んだ。そして、計画を実行するために必要なのが、仲間との協調性であった。思うようにいかず、時に躓くこともあったが、一つの物事に全員で取り組み、思いの方向を合わせることが成功のカギだと知った。

生徒会のメンバーとなるという一つの決断によって、計画を立てて人を動かすことの大変さ、仲間と協力して物事を成し遂げる達成感など、今までには得られなかった体験をすることができた。一人では絶対に感じることができなかった充実感を、行事を通してより多くの人と共有できたことほど嬉しいことはない。

多くの学びを与えてくれた生徒会や二高の生徒の皆さん、先生方には大きな感謝を伝えたい。そして、この先も前へ進み続けるため、この学びと感謝を忘れずに活かしていきたい。

◎次に、イタリアに在住し、絵本作家として活躍していらっしゃる石橋貴美子さんにインタビューをしました。

☆石橋さんはイタリアにお住まいで、アーティストとしてご活躍ですが、これまでの活動について教えて下さい。

―新型コロナウイルスの感染者が出てから約二年。私の住んでいるイタリアは現在まで死者十三万五千人。日本の状況は世界から見ると悪くはなかった様ですが、こちらは感染者が再度増え、現在も混乱が続いています。そんな状況の中、この二年を振り返りながら原稿を書く機会を二高の先輩である住吉治彦様が与えて下さいました。

「落ち込んでいてはダメだぞ」と、まるで背中を押して下さっているかの様な…母校の先輩だからこそどこか温かい。こんな風に思えるのは二高だからなのでしょうか。

私は美術コースの卒業生です。イタリアに住んで十七、八年、子育てをしながら細々と絵を描いていたのですが、コロナウイルスで生活が変化しました。誰もが日常を根底から覆され、人生観が変わってしまったことでしょう。

知人の中には家や持ち物全てを売り払い、愛犬と共にカナリア諸島へ移住する決意をした人もいます。キャンパーで寝泊まり、砂浜でその日暮らしが六十歳を目前にした彼女の選択。すごい勇気だと感心していたら「朝から晩まで働き尽くめの人生に、何の意味があるの？」と問われ答えが見つかりませんでした。

人生の真意は分からなくとも、絵を描きながら次世代を想い環境を大切に暮らしていきたい、とよく考えます。きっとこれから必要なことは周りを幸せにするミクロの仕事と、プラスチック使用量軽減や海山のゴミ拾いなど地球へ配慮するマクロの仕事の両方を一人一人が兼ね備える事で、それを実現する地域が世界のお手本になり、最も幸せな土地となるだろうと思うのです。そんな場所が南部地方だったらどんなに…と、先輩である熊谷雄一八戸市長のご活躍を遠くから祈る気持ちでいます。

☆今年度卒業する皆さんへメッセージをお願いします。

―卒業される皆様はどの様な道に歩まれようとも、疲れたら時間を見つけて眠り、添加物の少ない手作りの食事をなるべくとることが健康な心と体を作る基本だと、母親の立場から助言させていただきたいです。健康な心身があればこそ仕事も勉強もはかどり、周りに優しく出来るもの。自分や他人の失敗も「こんな事もあるさ」と考える余裕も生まれます。私は高校の三年間で、大切なものは学校の外にあるということを学んだ様に思います。

スマートフォンに並べられた言葉を探すより、ご自分の気持ちと向き合って。本当に好きなこと、大切なものに理由などない事も多いのですから。

一人一人に違った価値があり、皆が宝である事をいつも忘れずに・・・応援しています。

小田桐（旧姓 高橋）努さん（19回生）

新春デーリー東北新聞社主催「詩」入選!!

詩　自由題　仁科　源一選

◇入　選

小田桐努さん

喜びの声

詩を書き始めたのは、30年ほど前、高校の頃です。本紙のヤングポストの詩のコーナーに、「WAVE」というペンネームで投稿していました。毎週、自分の詩が載っているかいないかで、一喜一憂していたものです。私も社会人となり、日々の忙しさで、詩を書くことから遠ざかっていましたが、6年前から本紙のデーリー文芸が気になり、再び投稿を始めました。少年時代と現在の自分の詩を読み比べては、酒の肴として楽しんでおります。

この度は私の詩を選んで下さり、誠にありがとうございます。これからも自分らしい詩を書いて精進していきたいと思います。

（1975年生まれ）

「祈り」　八戸市　小田桐　努

私は自分に祈りたい
あの時の　あの人に祈りたい
あなたが誰かに抱きしめられますように
子供が親に愛されますように
子供が親を愛しますように
身近な　あの子に祈りたい
将来　幸せになりなさい
誰かを恨むのをやめなさい
自分が損をして生きなさい
ありのままの自分を愛してあげなさい
苦しくても自殺するのはやめなさい
明日になるまで　じっと待ちなさい
嫌になったら逃げなさい
もう無理だと思ったら
丸くなる　丸くなる
夢の中でふわふわした危ない夢を見よう
そこでも私は祈っている
幼きあの頃の私に祈っている
今は　まだ分からないけれど
きっといつかは信じたい
人は誰もが良い人なのでしょう
人は誰もが愛されるために
生まれてきたのでしょう

（令和４年１月１日　デーリー東北新聞社掲載）

二高教員インタビュー
～還暦を迎えた先生からのメッセージ～

今年度還暦を迎えられた田中肇先生にインタビューをし、これまでの思い出話と同窓生へのメッセージをいただきました。

☆これまでの学校生活を振り返っていの思い出をお聞かせください。

「ならぬもの十戒」

「つもり違い十か条」

昭和五十九年に勤務。右往左往しながらも心は当時の学園ドラマを再現していた。年齢の近い生徒たちと青春を大いに語りあった。

数年経った頃、成果を出せずにいた。平成六年三月二十日、工大一高への異動を命ぜられる。辞令をもって職員室に駆け戻ったらみんなテレビに夢中。地下鉄サリン事件だった。離任するその日は、体操愛好会をひとりで頑張ってきた二年生男子との別れでもあった。来年は大会デビューだった。二人で涙した。

兄弟校での経験は自分の人生観価値観を大きく変えた。平成十六年に戻ってきた。自分が取り組むべき課題がたくさんある。とにかく、生徒と語り合うことがとても楽しかった。四月からも新たな気持ちで楽しみたい。

☆同窓生の皆さんにメッセージをお願いいたします。

実力の差は努力の差
実績の差は責任感の差
人格の差は苦労の差
判断力の差は情報の差
真剣だと知恵が出る
中途半端だと愚痴が出る
いい加減だと言い訳ばかり
本気でするから大抵のことはできる
本気でするから何でも面白い
本気でしているから誰かが助けてくれる

（出展は正範語録）

いくつになっても自分の生き方に、歩み続ける道であるかに迷うことがあります。たくさんの生きざまに出会うことで、その人の体験から得られた心の声、叫びに触れることで、ふっと脱力できる瞬間があります。恩師、師匠、親友、戦友、異性の友人…。いつもありがとうございます。実は、見るに見かねて…だったのかも。

令和3年度 主なトピックス

〈4月〉4月6日、130人の入学生を迎えて、第47回入学式が行われた。

〈5月〉5月15日より開催された令和3年度春季青森県高等学校野球選手権大会において、本校チームが創部以来初の第4位を獲得した。

〈6月〉5日～7日にかけて行われた青森県高校総体にて、サッカー競技女子が準優勝し、テニス競技男子団体でも準優勝を果たした。高校総体ポスターコンクールにおいて美術コース2年大久保彩音さんが最優秀賞を獲得し、大会ポスターに採用された。12日、2年生が震災学習として宮古市（旧田老町）の震災遺構を訪ね、災害の恐ろしさを知るとともに、復興に向けて被災地防災や減災を学んだ。15日、ＬＯＯＢＪＡＰＡＮ理事の吉永幸子氏とピースウィンズ・ジャパンの大石雅美氏より、フェアトレードやエシカル消費についてご講演いただいた。18日、体育祭が行われ、各軍とも全力で競技に参加し大いに盛り上がった。24日、国際支援ボランティアとして「文房具を発展途上国へ寄付しようプロジェクト」を実施し、全校から未使用の文房具や学用品を集め、国際ＮＧＯジョイセフを通じてアフガニスタンへ寄付した。

〈7月〉15日～16日、スポーツ大会が行われ、各軍での熱戦が繰り広げられた。また、18日と20日には二高・附属中祭が開催された。今回はコロナウイルス感染対策のため、一般公開はしなかったが、各部活動や有志によるパフォーマンスが行われた。

〈8月〉18日、六ケ所エネルギーパーク見学を希望者対象で行い、日本のエネルギー問題への理解を深めた。19日、階上町にて行われた「異文化理解・英語力向上プログラム」に参加し、階上町の海岸および観光地を巡り、英語によるガイドを受け、地域の環境や文化の理解、および英語力の理解に繋がった。

〈9月〉命の教育の一環として、廃棄される羊毛をリデュースし、かわい

第72回青森県高等学校総合体育大会ポスター「最優秀賞」作品

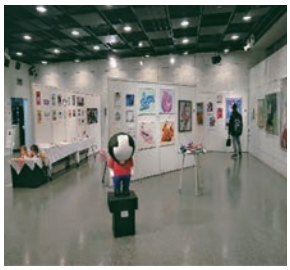
い羊のマスコット【写真左】を作る取り組みが行われた。

〈10月〉17日、「東北ＥＳＤ／ＳＤＧｓフォーラム2021みちのくＳＤＧｓＩＮあおもり」が青森市で行われ、本校で実施されているＳＤＧｓの取り組みを発表し、高い評価を受けた。

22日、美術コース生が制作した県南観光ポスターの展示式が行われ、感謝状をいただいた。23日、白神山地ツーリズムが実施され、水陸両用バスに乗車して紅葉を楽しんだ。第42回青森県高等学校総合文化祭美術部門において、美術コース2年吉田風花さんの「おもひで」が優良賞を受賞した。【写真1ページ目】

〈11月〉1日～2日、美術大学連携授業が行われ、瀬戸物の小皿に絵を描く実習を行った。11日、階上町が行っているＰＲ活動「階上いいとこ広め隊」が町の魅力を探す活動を行った。

〈12月〉15日、外務省高校講座が行われ、大臣官房国内広報室の石原丈嗣氏より国際情勢などについてご講演いただいた。24日～26日、美術コース作品展がポータルミュージアムはっちにて行われた。【写真左】



〈1月〉17日～18日、「韓国教職員招へいプログラム」が行われ、オンラインによる学校訪問や交流会が実施された。

同窓生対象の会員カード発行！
～大いにご活用ください～

同窓生の皆様、今回堂々生対象の会員カードを発行しました。

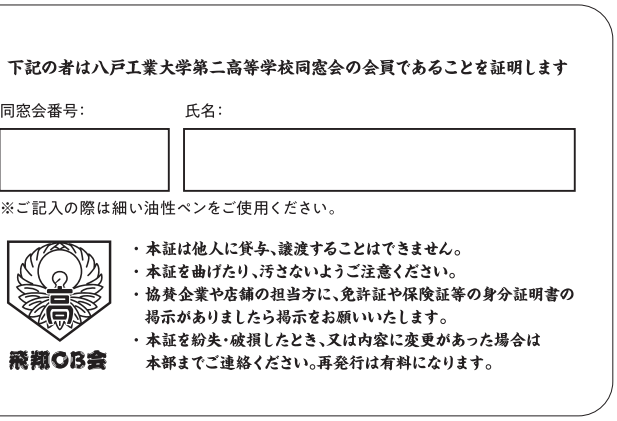
これは、協賛店にカードを提示すると、割引や特典を得る事ができる「二高同窓会会員カード」です。

カードの裏面に、回組と氏名を送られた封筒の左側に記載されている四桁の会員番号を記入して、ご持参ください。

協賛店や企業には、今年の８月を目処に使用開始できるように案内していきます。同窓生の皆様協賛くださる方がおられましたら、事務局まで連絡くだされば、詳しいご説明をさせていただきますのでご協力お願いいたします。

カードを紛失しますと、再発行は有料になりますのでご了承ください。

会員の皆さん
会員証が同封されています
確認をお願いします



協賛店募集!!

本校の創立50周年を間近に控え、当同窓会の記念事業として賛同いただける企業様のご厚意による会員カードの発行を企画いたしました。

これは本校同窓生が会員カードを提示した際、賛同企業様には物品購入や飲食等の利用額から値引きや特典付与をお願いするものであります。

ご参加をお願いする対象企業様については、本校同窓生関係に限らず、幅広くお願いする所存です。

詳しくは、同窓会事務局まで連絡ください。

【会員カード協賛店】

☆アンバーコーヒー
八戸市小中野
5―2―20

☆割烹　さんりく
八戸市六日町23

☆ＴＡＸ ｃｏｗ ｃｏｗ シャドー
八戸市城下３―１―23

☆㈱第一ホーム
（アイフルホーム八戸店）
八戸市新井田
３―２―17

☆ドックローズ（ペットサロン・トリミング）
八戸市田向１―２―20

☆パセリー菜　各店舗
（フラワーショップ）
八戸市長苗代中坪
１１５―７

☆八戸パークホテル
八戸市吹上１―15―90
―令和４年１月26日現在―

☆割烹金剛　４Ｆ

☆魚食家きんき　３Ｆ

☆素材礼讃丹念　１Ｆ
八戸市鷹匠小路18

☆炭火焼肉酒家牛角八戸ゆりの木通り店
八戸市鷹匠小路10
ゆりの木ボウル１Ｆ

☆海と山、川と畑
８デリーはちでり
宮城県仙台市青葉区
中央１丁目１―１
エスパル仙台

☆プロント仙台青葉通り店
宮城県仙台市青葉区
中央２丁目３―６

☆魚食家きんき丸ノ内パレスビル店
東京都千代田区
丸の内一丁目１―１

☆８ｂａｓｅ（エイトベース）
八戸都市圏交流プラザ
東京都千代田区
内幸町１丁目７―１

同窓会ホームページに掲載して紹介しますので、お待ちください。皆さんのご協力をお願いします。

同窓会、相互の親睦と情報交換のお知らせ

コロナ禍の状況を見極めて決定

今春卒業、昨年卒業生（47・46回生）会費無料！

同窓会では毎年の事業として、会員相互の親睦と情報交換を図るために、同窓会を下記のとおり６月の関東支部、８月の八戸での納涼パーティーを開催しております。

しかし、コロナ禍の状況によっては、中止もありえます。中止の決定は、関東支部は、５月の連休明け、納涼パーティーは、６月末までに決定し、同窓会のホームページに掲載いたしますので、ホームページを確認後に葉書を投函していただきますようお願いいたします。

３年後には創立50周年を迎えますが、外部による寄付を募ったり、商品等の販売は一切行っておりませんので、なりすまし詐欺など充分にご注意ください。

今後寄付を募る場合は、同窓会本部事務局あるいは、学校からの文書が送付されますので必ず確認をお願いいたします。

住所・氏名・連絡先等が変更になった場合は速やかに卒業アルバム巻末の葉書を利用、同封の「料金別納封書」、同窓会ホームページ「住所変更」または同窓会本部事務局までお知らせください。変更連絡のない場合は、翌年以降の各種事業の案内が郵送できませんのでご注意ください。

ご協力の程よろしくお願いいたします。

令和４年度新幹事決定

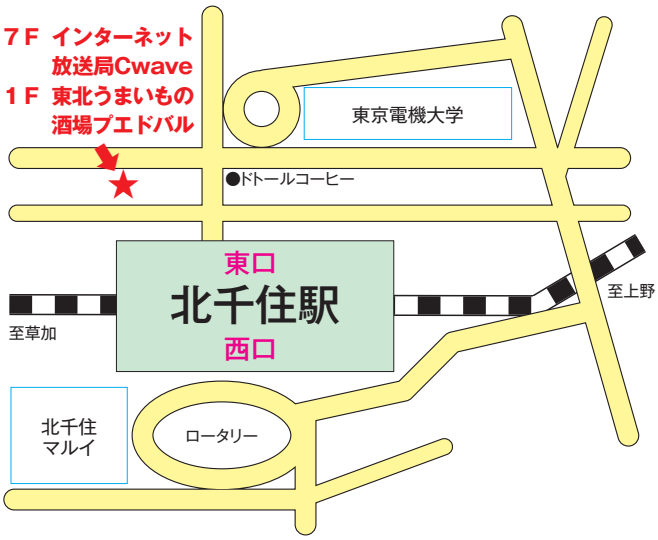
〈八戸地区幹事〉

一組　堀切川雷十
二組　石倉　麻音
　　沼尾　美空
三組　岡部向日葵
　　下村　詩
四組　玉懸　海吏
五組　笹山　雄貴
　　吉田樹一郎
六組　小川　蘭
七組　泉山　花音

〈関東地区幹事〉

一組　中村　彩夏
二組　黒坂　莉那
　　水尻　穂香
三組　北上　実直
　　吉田　幸平
四組　松尾　充希
五組　佐々木ゆず
　　鳥谷部雅麗
六組　鳴海紫乃舞
　　村上　璃奈
七組　岩浪　萌那

新幹事の皆さん、宜しくお願い致します。



☆第45回関東支部同窓会（リアル＆オンライン）

日時：2022年６月26日（日）
12：00～14：00（会費2,000円）

会場：７Ｆ：インターネット放送局 Cwave
（オンライン）
１Ｆ：東北うまい酒場プエドバル（リアル）
東京都足立区千住旭町41－14　第一ビル
電話03-5284-7107

締切：2022年６月17日（金）必着

北千住駅東口（電機大学口）徒歩１分
JR常磐線
東京メトロC18千代田線　Ｂ２Ｆ
東京メトロH22日比谷線
東武スカイツリーライン

☆第47回同窓会納涼パーティー（リアル＆オンライン）

日時：2022年８月11日（木）18：00～20：30（会費2,000円）

場所：八戸パークホテル
八戸市吹上一丁目15-90
電話0178-43-1111

第47回
八工大二高
同窓会納涼パーティー

日時　8月11日㈭ PM6:00～
会場　八戸パークホテル
会費　￥2,000
（同伴の方及びご家族は無料です）

詳しくは、同窓会事務局／住吉まで
TEL、FAX 0178-46-1571

豪華景品が当たる！

八戸工業大学第二高等学校同窓会

同窓会ホームページ
http://www.kodai2-ob.com/

登録
お願いします。

八戸工業大学第二高等学校同窓会本部
同窓会担当　田中　　洋
〒031-8505　八戸市大字妙字大開67番地
電話0178-25-4311　FAX0178-25-0568
Ｅメール　p8@kodai2-h.ed.jp